

No.	意見・質問等	回答
1	ドクターヘリが青方上空を飛行する際、青方商店街の家が揺れることがある。新病院へ離発着すると揺れるのではないか。自衛隊ヘリの離発着はないのか。	自衛隊のヘリの離発着はない。上五島空港に離発着する。
2	ヘリコプターによる風圧と騒音に対する対策は考えているのか。 将来風圧によって家が歪んだり壊れたりした場合の保証などは考えてくれるのか。	新病院のヘリポートは、4階建で地上21mを想定している。民家への影響があるようなら高く設計をすることも検討する。民家への保証は考えていない。病院から港の方が住宅が多い。有川方面は住宅が少なく、新病院の完成後は、ヘリポートへの着陸訓練（デモフライト）を行う予定である。その際は、住宅が比較的少ない有川方面から着陸をする事を計画している。 ヘリコプターの風害は着陸する時に大きいですが、離陸するときはヘリコプターは垂直に上昇するため地上に風の影響は出ない。着陸訓練（デモフライト）の際に地上にどのくらいの影響が出るか検証したい。極力、民家側からの着陸はしない運用で行っていきたい。
3	ヘリコプターの離発着の影響で住宅に被害が出た場合の請求先はどこか。	病院側とヘリコプター運航会社側との話し合いによってどちらが負担するのか決まる。最初の被害が出た場合の届け出先は病院になる。
4	北風が強い場合の着陸は大丈夫か。備蓄記念会館で気流が乱れた場合の着陸は大丈夫か。	ヘリコプターの着陸については横風が強い場合は問題はない。問題がある場合は後ろから風を受ける時であり、北風が強い時はパイロットが判断し、東もしくは西から着陸する。 備蓄記念会館に当たった強い風が乱れる場合があるが、乱れた風を抜くようにヘリポートの下に風が抜けるように設計するので、ヘリコプターの離発着には問題ないとする。
5	騒音と風圧について住民に体感してもらわなくていいのか。	ヘリポートが出来上がる前の体感はできない。ヘリポート完成後のデモフライトにおいて、病院への離発着は難しいのではとの意見が多数あがるようであれば、大曾のヘリポートの利用を検討しないとイケない。 体験が必要ということであれば、申請が通るかは分からないが、低空飛行申請の病院側からのドクターヘリやリムキャスへの依頼は可能である。

No.	意見・質問等	回答
6	リムキャスはヘリコプターでドクターを運ぶ目的で飛行するのか。	本土からの医師搬送、本土病院で急性期の治療を終えた患者を離島病院へ搬送する「下り搬送」での利用も想定している。 現時点では、大曾のヘリポートは使用せず屋上ヘリポートへの離発着を想定している。
7	緊急性が低いドクターヘリは大曾のヘリポートの運用でよいのではないか。	診療時間の確保および医師の負担軽減を考えたら病院のヘリポートを利用する方がよいと考えている。
8	ヘリポートに関すること以外の事は「ご意見用紙」に記入したら回答いただけ	回答します。
9	基本的にヘリコプターは1台で運用するのか？何台かで運用するのか。	長崎県ドクターヘリは1機しかない。リムキャスのヘリコプターは、ドクターヘリと同じサイズで1機しかない。車のハイエースと同じサイズ。長崎県防災ヘリも1機のみである。
10	リムキャスヘリは従来の通り大曾のヘリポートでの運用ではいけないのか。	年間120回前後の回数にはなるが、費用の面を考えても病院の屋上ヘリポートへの離発着を考えている。もちろん今後検討する余地はある。
11	夜間にヘリコプターの離発着はあるか。騒音で訴えたら二重サッシ等の保証してくれるのか。	夜間のヘリ搬送に関しては、自衛隊ヘリによる運航となり、その際には有川ヘリポートもしくは上五島空港を利用している。夜間の屋上ヘリポートの利用は災害時を想定している。災害時だけは絶対にとは言い切れない。 二重サッシ等の保証に関しては、今の段階で回答は出来ない。
12	夜は青方上空はヘリは飛ばないということか。 ヘリコプターの離発着を事前に放送できないか。	県の防災ヘリが夜間の受付をやっていない為、夜間のヘリ搬送は自衛隊ヘリになるので屋上ヘリポートからの搬送はない。 離発着時の事前放送については、防災無線で対応可能である。役場と連絡を取りあって行いたい。
13	リムキャスの時間によっては保育園の昼寝の時間帯に入るので、運行時間を配慮してほしい。	リムキャスの朝の時間帯は8:20~8:40の間に到着する予定であり、帰りに関しては最後に診察が終わった医師に合わせる為、診療時間によって異なっている。運行時間については、住民の皆様に配慮できるよう協議していきたい。

No.	意見・質問等	回答
14	小学校の防音設備や防音ガラスを検討して欲しい	騒音の状況により検討したい。
15	リムキャスヘリは、毎日離発着しているのか。また、どのような飛行経路なのか。	リムキャスヘリの運行予定は、毎週(月)(火)(木)と第2(金)で計画している。飛行経路については、基本的に東西方向の離発着を行っているが、風の影響によっては南北方向からの離発着も行うことがある。
16	新病院建設時の工事の騒音や振動についての説明会は開催しないのか。	新病院の建設工事に関する住民説明会については、着工前に工事請負業者の決定後に開催を予定している。
17	医師、看護師の確保が先。新病院が完成してもスタッフ不足では機能しない。	医師については長崎県の養成医師や長崎医療センターや長崎大学病院等との連携、医師以外の医療従事者についてはアイランドナースネットワーク事業の推進や医療技術修学資金貸与制度の拡充等を行っており、引き続き地域医療の維持に必要な医療従事者の安定的な確保に努める。